

**令和元年度事業報告書**  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

**I 主要な会議等**

**1 理事会**

開催日	議案等	備考
令和元年5月30日	<審議事項> ① 平成30年度事業報告及び決算の件 ② 定時評議員会の開催の件 <報告事項> 平成30年度資金運用の経過の件	通常理事会 (第1回)
令和元年11月7日	<審議事項> ① 令和元年度事業計画及び収支予算の変更の件 <報告事項> ① 令和元年度事業報告(上半期)の件 ② 令和元年度資金運用の経過の件	通常理事会 (第2回)
令和2年2月5日	<審議事項> ① 令和2年度事業計画及び収支予算の件 ② 令和2年度資金運用の執行方針及び計画の件 ③ 財団規則の変更の件 ④ 臨時評議員会の開催の件	通常理事会 (第3回)
令和2年3月31日	① 評議員会の開催(書面表決) ② 事務局長及び事務局次長の任免	書面表決

**2 評議員会**

開催日	議案等	備考
令和元年6月28日	<審議事項> ① 平成30年度計算書類等の件 ② 役員を選任の件 <報告事項> ① 平成30年度事業報告書の内容の件 ② 平成30年度資金運用の経過の件	定時評議員会
令和2年2月13日	<報告事項> ① 令和元年度事業計画及び収支予算の変更の件 ② 令和2年度事業計画及び収支予算の件 ③ 令和2年度資金運用の執行方針及び計画の件	臨時評議員会

## II 事業報告

### 【公益目的事業会計】

#### 1 屋久島環境文化村構想推進事業

##### (1) 環境学習

##### ① 自然・文化体験事業

##### ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り，屋久島のフィールドを活用した自然・文化体験学習プログラムを提供するとともに町内外の方々との交流等を行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
まるごと屋久島研修講座（里編）			
島内解説（西部林道，大川の滝，郷土料理等）	平成31年4月20日	32人	
まるごと屋久島研修講座（森編）			
屋久島の自然散策（ヤクスギランド解説）	平成31年4月27日	17人	
はじめての屋久島旅			
太忠岳トレッキング，春牧里めぐり等	令和元年5月3日 ～5日	14人	
夏を楽しむエコツアー			
一湊海岸シュノーケリング体験	令和元年7月13日	9人	
魅力発見やくしま旅			
黒味岳・前岳トレッキング，西部林道，大川の滝，ネイチャークラフト	令和元年9月14日 ～16日	19人	
秋の屋久島トレッキング			
楠川歩道トレッキング等	令和元年11月10日	8人	
ワンコインセミナー			
漂着物観察・冬の海の落とし物探し	令和2年1月18日	6人	
ヤクシカをさばいてたべよう	平成2年1月26日	14人	
ルーペで見るコケの世界～入門編～	令和2年2月1日	8人	

イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に、ふるさとの新たな一面を再発見し、その自然環境や文化に対する意識向上等を図るため、屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
<p>&lt;研修センターオープンデー&gt; 親子で楽しめる科学実験等の実施を行った。</p>			
チリメンモンスター探し，木工クラフト，火おこしチャレンジ，昆虫・川の生き物観察	令和元年6月23日	794人	
<p>&lt;星空観察会&gt; 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行った。</p>			
・春の星空観察会（神山小学校）	平成31年4月12日	60人	
・秋の星空観察会（安房小学校）	令和元年9月20日	29人	
・冬の星空観察会（栗生小学校）	令和2年2月14日	36人	
<p>&lt;子どもエコ隊活動事業&gt; 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り屋久島の未来を担う人材の育成を図った。 今年度テーマ ～アウトドア（センスオブワンダー）で本物の屋久島を楽しみつくそう！～</p>			
・テント泊，ナイトハイク，野外炊飯，ヤクスギランド観察	令和元年6月15日～16日	25人	
・水アウトドア編	令和元年7月14日	24人	
・山アウトドア編	令和元年11月17日	17人	
<p>&lt;自然に親しむ集い&gt; 町内在住者を対象に、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を行う。</p>			
・川の生き物観察，ミニ水族館づくり	令和元年10月5日	12人	
・アサギマダラマーキング会	令和元年11月17日	8人	
<p>&lt;幼児環境教育推進事業&gt; 町内未就学児の親子を対象に野外体験活動を実施し、幼少時代から環境意識を向上させる。</p>			
・秋の森deまったりお散歩の会	令和元年11月16日	11人	
・森のはっぱdeべたべたスタンプの会	令和元年12月7日	5人	
・冬の森deまきまき棒パンの会	令和2年1月25日	18人	
・テントdeわくわくキャンプ	令和2年2月22日～23日	17人	

## ウ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、令和元年8月17日から9月5日まで東京成徳大学4年の学生1名を、屋久島環境文化研修センターで職場体験をさせた。

## ② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

また、鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づき、同大共通教育課程で実施する集中講座「屋久島の環境文化」の講義において、環境文化に対する学生の理解を深めるため、屋久島をフィールドとする支援活動を行った。

区分	団体数	参加者数
宿泊研修	66団体	3,826人
一日研修	39団体	1,063人
短時間研修	3団体	24人
合計	108団体	4,913人

## ③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校環境コースの生徒を対象に、屋久島・口永良部島の自然、歴史、文化について理解を深めてもらうため、宿泊型の環境学習に関する研修に対し、支援を行った。

また、沖縄県立辺土名高等学校で開催された「第20回全国高校生自然環境サミット」への参加費の一部補助を行い、生徒の交流支援を行った。

名称	内容	開催日	参加者数
夏季研修			
	屋久島地質巡検	令和元年7月9日 ～10日	6人
第20回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会			
	メインテーマ「自然との共生」 フィールドワーク及びワークショップ	令和元年8月6日 ～8日	2人
秋季研修			
	屋久島生物の同定と観察・ガイド実習	令和元年10月15日 ～16日	6人
冬季研修			
	屋久島の地域の『宝』に関する取り組み	令和2年1月21日 ～22日	5人

- ④ 出張屋久島講座  
町内の児童・生徒に，屋久島の環境学習を行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
総合的な学習の時間（小瀬田小学校3～4年）			
屋久島の昆虫，珍しい昆虫	令和元年6月21日	41人	
総合的な学習の時間（安房小学校4年）			
身近な植物，食べられる植物の観察	令和元年7月2日	35人	
総合的な学習の時間（岳南中学校1～3年生）			
屋久島の漁業とエビの外部形態の観察 （講師 鹿児島大学水産学部教授 大富 潤）	令和元年7月3日	81人	
環境学習（すみれ子ども園）			
屋久島の漁業とトビウオの外部形態の観察 （講師 鹿児島大学水産学部教授 大富 潤）	令和元年7月4日	24人	
総合的な学習の時間（安房小学校4年）			
花の不思議な世界～花から果実ができるまで～ （講師 東北大学大学院教授 渡辺 正夫）	令和元年10月15日	33人	
総合的な学習の時間（宮浦小学校3～4年生）			
花の不思議な世界～花から果実ができるまで～ （講師 東北大学大学院教授 渡辺 正夫）	令和元年10月16日	77人	
総合的な学習の時間（金岳小中学校）			
川のエビ類と生息環境，希少種とその保全	令和元年10月28日	15人	
総合的な学習の時間（安房中学校1～3年生）			
公民地方自治～町づくりについて考えよう～	令和元年12月4日	33人	

- ⑤ 屋久島研究講座  
町内在住者を対象に，屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り，その未来を担っていく人材を育成するため，屋久島をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
家庭排水の環境負荷と持続可能な選択			
株式会社シャボン玉本舗 お客様相談室 室長 加藤友和	令和元年6月8日	屋久島環境文化村 センター	35人
屋久島の自然史			
鹿児島大学 准教授 井村隆介	令和元年8月22日	屋久島離島開発総合 センター	70人

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
屋久島と口永良部島の災害・防災			
森林総合研究所九州支所 グループ長 黒川潮 産業技術総合研究所 グループ長 下司信夫 口永良部島火山防災連絡事務所 所長 用貝敏郎	令和元年12月7日	屋久島離島開発総合 センター	100人
5. 18豪雨における山岳残留事故を検証する -未来のために経験を生かす-			
屋久島観光協会ガイド部会 代表 中馬慎一郎	令和元年12月8日	屋久島離島開発総合 センター	100人
水辺の樹木の生活史			
新潟大学 佐渡自然共生科学センター 所長 崎尾 均	令和2年2月13日	屋久島環境文化村 センター	60人
鬼界カルデラ，アカホヤ噴火の全貌と周辺地域への影響			
鹿児島大学 地震火山地域防災センター 客員教授 小林 哲夫	令和2年2月22日	屋久島環境文化村 センター	56人

## (2) 環境形成

### ① 環境保全活動支援事業

#### ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部荒廃を防ぐため、登山者へのマナー指導（令和元年5月2日）やマナーガイドブック等の配布を行い、「屋久島山岳部環境保全協力金」の周知・広報を行った。また、関係機関とともに、荒川登山道の安全点検（令和元年7月30日、令和2年2月26日）に参加した。

#### イ エコツーリズム支援事業

屋久島におけるエコツーリズムの取り組みを推進するため、屋久島町エコツーリズム推進協議会へ参加し、支援を行った。

その他、自然体験活動指導者（NEAL）養成団体として、広く町内外から希望者を募り自然体験活動指導者養成講習会を行った。

区分	開催日	参加者数
自然体験活動指導者養成セミナー	令和元年6月8日～9日	17人
野外活動指導者養成セミナー	令和元年12月12日～15日	11人
日本赤十字救急法基礎・救急員養成講習会	令和2年1月15日～17日	7人
屋久島ガイドセミナー	令和2年1月30日～31日	9人

ウ 生物多様性保全事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

また、島内で問題となっている農作物への鳥獣（シカ・サル・ヒヨドリ・カラス・タヌキ）被害の状況調査について、支援を行った。

団体等名	
	調査研究等内容
鹿児島大学連合農学研究科博士課程2年 蘭光健人	屋久島に自生する希少着生植物の多様性評価とその保全
東京大学大気海洋研究所学術支援職員 畑瀬英男	ウミガメの繁殖および孵化特性における時間的変異性と安定性
信州大学学術研究院理学系教授 東城幸治	屋久島・口永良部島における水生昆虫相の再検討と生物地理学的に重要種群の遺伝構造解析
琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻琉球島嶼生物地理学研究室博士 岡本康汰	在来種ヤクヤモリと外来種ミナミヤモリの交雑による遺伝子汚染の実態の解明
新潟大学佐渡自然共生科学センター教授 崎尾 均	屋久島におけるサツキの分布特性と生活史戦略
子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組代表 山口英昌	「ボランティア体験・学習キャンプ」実施による口永良部島の生物多様性の調査・保全，啓発
屋久島エコツーリズム研究会プロジェクト代表 小原比呂志	屋久島エコツーリズム研究会ヤクスギランド線総合調査プロジェクト
東北大学大学院生命科学研究所生態発生適応科学専攻博士 香川 理	屋久島陸産貝類多様性調査

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・孵化場所である海浜の環境を保全するため、遮光林の維持管理を行うとともに、関係機関と協力して保護柵の設置やふ化調査、海岸清掃を行った。

- ・ うみがめ保護遮光林維持管理

委託先	委託期間	実施場所
永田ウミガメ連絡協議会 会長 計屋圭宏	令和元年5月1日 ～ 令和2年1月31日	永田（いなか浜） 一湊（一ツ浜，二ツ浜）

- ・ 海浜の清掃活動

主催団体	実施日	実施場所
永田浜ウミガメ保全協議会	平成31年4月26日	永田（いなか浜）

- ・ マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びウミガメ繁殖環境の保全を行った。

実施団体	実施日	実施場所
永久保区	令和元年7月28日	田代海岸
栗生区	令和元年9月29日	塚崎海岸（第1回）
	令和元年12月15日	塚崎海岸（第2回）
永田区	令和2年1月19日	永田浜（いなか浜・前浜）

## ② 屋久島動植物調査等事業

自然保護の普及活動を推進するため、環境学習や自然観察の資料として活用されている、財団発行のガイドブック「屋久島の野鳥ガイド」の改訂・発行を行った。

## (3) ネットワーク形成

### ① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの登録、ボランティア団体の支援、ボランティア活動に関する情報発信を行った。

- ・ 環境文化ボランティアの活動（登録者数43名）

実施日	内容	参加者数
平成31年4月21日	大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り	2人
平成31年4月28日	大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り	3人
令和元年5月3日	大型客船（ばしふいっくびいなす）見送り	3人
令和元年6月1日	世界環境デー	5人
令和元年6月23日	研修センターオープンデー	6人
令和元年6月29日	誘客活動（フェリー屋久島2）	4人
令和元年7月7日	一湊（一ツ浜）自然観察×ビーチクリーン（日本自然保護協会、シャボン玉石けん株式会社と共同）	6人
令和元年7月14日	村せん祭り	6人
令和元年11月30日	ヤクスギランド清掃（レクリエーションの森保護管理協議会・アサヒビール株式会社と共同）	1人



・ 企業ボランティアの活動

企業名	実施日	内容	参加者数
シャボン玉石けん株式会社	令和元年7月7日	一湊（一つ浜・元浦） 海岸清掃	53人
株式会社伊藤園	令和元年10月19日	宮之浦（平和町海岸） 海岸清掃	27人
アサヒビール株式会社	令和元年11月30日	ヤクスギランド木道・ 手摺のコケ落とし	102人

※ 参加者数は財団ボランティア等を含む。

・ ボランティア団体への支援

団体等名
活動内容
屋久島国立公園パークボランティアの会会長 若松昭男
環境保全活動事業

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、町内外の事業所などへ勧誘活動を行った。また、ファンクラブ会員等に向けた財団イベント情報等の発信を行った。

屋久島ファンクラブ会員数	916人
うち令和元年度新規加入者	189人

③ 財団情報の発信誌発行

ア 財団会報「屋久島通信」（A4版，8ページ）の発行（3,000部／号）

全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	主な内容
第72号	令和元年7月	特集 屋久島の森林生態系への火山灰の影響
第73号	令和元年11月	特集 屋久島の野鳥
第74号	令和2年3月	楠川古文書

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行（6,500部／月）

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

④ 研究者ネットワークの形成

町内在住者や来島した研究者等へ情報提供を行うとともに、研究者や専門家による調査・研究内容を町民に紹介する場（屋久島研究講座等）を設け、地元への還元を図った。

#### (4) 屋久島地域づくり支援

##### ① 里のエコツアー推進事業

###### ア 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 協議会事務局の運営と里のエコツアーを実施した。
- ・ 世界自然遺産登録候補地である奄美地域のまち歩き団体等と会議を行い、更なる連携を深めた。
- ・ 里めぐり集落の語り部が7月に大島郡大和村の国直集落で開催された研修会（講師 NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事 東川隆太郎）に参加し、実践的な指導・助言を受けてスキルアップを図った。
- ・ 島内において、これから里のエコツアー実施を検討している集落・団体に呼びかけ、「地域おこし」に対する考え方や取り組みを学び、語り部としてのスキルアップと後継者育成に繋げるため研修会（講師：ぶらぶら宮之浦，NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事 東川隆太郎）を実施した。
- ・ 情報誌（屋久島MAP・るるぶ屋久島・まっふる屋久島奄美）に里めぐり情報を掲載し、更なる啓発を図ることとしている。

###### (参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員  
屋久島町，財団，集落（永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間，本村）
- ・ 目的  
屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・ 屋久島里めぐり参加者数（受入回数）

集落名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
吉 田	165人（24回）	504人（38回）	144人（22回）
宮之浦	216人（45回）	260人（46回）	133人（35回）
春 牧	93人（27回）	253人（32回）	225人（28回）
平 内	40人（11回）	67人（11回）	50人（8回）
中 間	17人（9回）	51人（9回）	63人（9回）
永 田	114人（23回）	131人（23回）	55人（14回）
一 湊	142人（24回）	231人（28回）	150人（22回）
本 村	一人（一回）	一人（一回）	3人（2回）
合計	787人（163回）	1,497人（187回）	823人（140回）

###### イ のんびりゆったり里のエコツアー

広く全国から参加者を募り，自然環境に負荷を与えない口永良部島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを実施した。

開催日 令和元年10月26日～27日

参加者 5名

② 屋久島の里づくり推進事業（地域振興推進事業等）

ア 屋久島の里の発掘・記録事業

屋久島の自然・文化・歴史などの地域資源や伝統文化を次世代に引き継ぎ、持続的に活用して地域の活性化に繋げるため、各集落の地域資源を「自然」「伝統行事」「民俗芸能」「名所・旧跡」「くらし」「産業」及び「事業」の7項目に分けて、発掘・記録化を行った。

実施集落 長峰，永久保，松峯，平野，麦生

イ 屋久島の里の説明看板設置事業

里地を中心とした着地型観光の確立と屋久島の里の魅力を発信するため、屋久島各集落の名所・旧跡等に説明看板設置を行った。

実施集落 長峰，永久保，松峯，平野，麦生 各2基

永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間，口永良部島 各1基

ウ 地域観光資源の多言語解説整備

訪日外国人旅行者への集落の魅力発信を目的として、各集落内に設置している説明看板のうち、地域の自然や伝統を伝える看板について多言語化（英語）を行った。

実施集落 永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間

③ 地域づくり支援事業

伝統文化の継承と環境文化意識の高揚を図り、集落の伝統文化行事等を発掘し、地域資源を保全するため、各集落に伝わる伝統芸能保存会や優れた芸術活動を行っている団体等の支援を行った。

また、環境保全・環境教育に関わる子どもたちの育成や地域づくりを促進するため、各種イベントや行事、地域の子どもたちへのスポーツ活動等に支援を行った。

団体等名	
活動内容	
特定非営利活動法人屋久島国際写真祭 千々岩孝道	
YPFギャラリー	
青森ねぶた招致観光交流事業実行委員会実行委員長 松本和則	
青森ねぶた招致観光交流事業	
特定非営利活動法人屋久島スポーツプロジェクト 御調伸一郎	
ノルディックウォーキング&体幹トレーニング講習会	
やくしゅがなんみ 竹之内徹	
耕作放棄地の再利用プロジェクト	
屋久島選抜チーム後援会会長 荒木耕治	
全国離島交流中学生野球大会屋久島選抜チーム支援事業	

④ 特産品開発事業

屋久島里めぐりの食文化コースにおいて、食事の提供の効率化を図るために必要な機材の購入を支援した。また、上記の食事を提供する方々を対象に食品衛生講習会を実施した。

⑤ 未来と環境文化を考える新たな協働事業

世界自然遺産登録以降積み上げてきた自然と共生しつつ地域を活性化しようとする活動を再評価し、今後の屋久島の環境文化、自然共生社会の在り方を再構築するため、屋久島の未来と環境文化を考える懇談会を開催するとともに、屋久島の自然や環境文化を映像等により島内外へ発信した。また、屋久島の環境文化の普及啓発のため、里のエコツアーの充実及び奄美大島との連携、旅行雑誌への広告掲載等による広報活動を行った。

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（23年度～， 9回目）

屋久島町の「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機として町内中学・高校生を派遣する事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行った。

渡航期間 令和元年7月28日～8月16日

参加者数 中学生4人 高校生1人

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～， 8回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学及び鹿児島国際大学の留学生を町内家庭で受入れ、屋久島の文化や暮らしの体験、町内在住者との交流活動等を行った。

受入期間 令和元年8月24日～26日

参加者数 14人（鹿児島大学8人・鹿児島国際大学6人 男5人/女9人）

受入世帯 5世帯

## 2 中核施設管理運営事業

### (1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託（指定管理者）し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。また、両施設の利用者増を図るため、各種利用促進施策を実施した。

#### ① 村センター管理運営

##### 入館者

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度比
入館者数	93,054人	70,944人	63,011人	88.8 %
うち有料観覧者数	24,262人	16,467人	13,721人	83.3 %

##### 貸出施設

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	65回	77日	70回	78日	83回	87日
交流ホール	4回	99日	8回	181日	6回	154日
大型映像ホール	3回	3日	3回	3日	4回	4日

#### ア 施設利用促進施策

- ・ 鹿児島港南埠頭や高速船ターミナル、宮之浦港、安房港、町内宿泊施設等にポスターを配付、掲示した。
- ・ 町内宿泊施設等への屋久島環境文化村センター案内リーフレットの配付、宿泊者への割引制度の実施や定期的に宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場で到着時に誘客活動を行った。
- ・ 県外のエージェントを訪問し、誘客を図った。
- ・ 大型客船の入港時に誘客活動と見送りを行った。
- ・ 島内のイベント（オープンウォータースイミング）に参加し、財団のPRを行った。また、島外で開催されるイベント（アイランダー2019）や県人会総会等へ参加し、施設の利用促進に向けて取り組んだ。

#### イ 開館23周年記念イベント

開催日	内容	参加者数
令和元年7月14日	県民の日の施設無料観覧	167人
	映画会「ボス・ベイビー」	301人
	工作（コマ、自然、うちわ）・撮影会	120人

ウ 交流ホール展示

開催日	内容	備考
令和元年5月1日 ～5月31日	屋久島の里を知ろう 一湊集落展	特別企画
令和元年7月2日 ～7月18日	「屋久島和紙」研究会の展覧会＝＜8がつ展・9＞～小さい紙大きい紙 自分で漉いた紙にかく～	
令和元年7月20日 ～8月22日	屋久島ことばで探す「魚介イラスト図鑑」展	特別企画
令和元年8月24日 ～9月1日	「マザー・テレサ写真展」世界で一番たいせつなあなたへ～マザー・テレサからの贈り物～	
令和元年9月3日 ～10月31日	「屋久島里めぐり」展	特別企画
令和元年11月1日 ～11月30日	謎だらけのマチュピチュ写真紀行	
令和元年11月12日 ～11月22日	レクリエーションの森小中学生作文展	
令和元年12月1日 ～ 令和2年1月12日	口永良部島 絵画展 ～子どもたちが描いた島を紹介するペンキ絵の展示～	
令和2年2月18日 ～3月19日	「屋久島和紙」研究会の展覧会 「如月の柳絮展」・14～漉いた紙に「口永良部島」, 「種子島」, 又は「自由題」をかく～	

エ 映画上映会

地元財団賛助企業「屋久島電工株式会社」からの費用助成により、映画上映会を実施し、地元住民福祉向上とともに、利用促進を図った。

開催日	映画名	来場者数
令和元年5月25日	スモールフット	223人
令和元年12月14日	グリーンチ	230人
令和2年3月21日	ペット2	中止

② 研修センター管理運営  
利用者

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度比
利用者数	8,055人	8,004人	7,342人	91.7%

貸出施設

区分	平成29年度		平成29年度		令和元年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	10回	10日	13回	13日	18回	18日
視聴覚室	8回	8日	5回	5日	3回	3日

ア 施設利用促進

- ・ 茨城県と千葉県のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や環境科設置専修学校等を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図った。
- ・ 熊毛地域教育旅行招請事業で来館した、熊毛支庁総務企画課、京都市内の高等学校及び中学校の関係者に、研修センターの施設の概要と環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図った。
- ・ 冬季対策として町内の未就学児の親子を対象とした一日研修・宿泊研修や町民向けの一日型セミナーなどを行った。

③ 財団ホームページ管理運用と情報発信

財団ホームページの適正な管理運用を行うとともに、フェイスブックの活用、メールマガジンの発信により、日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

④ 教育機関との連携

教職員及び生徒の体験学習を積極的に受け入れ、財団を知ってもらうとともに、郷土の良さや環境等へ視野を広げる取り組みを実施した。

安房小学校 教諭1名 中種子養護学校 教諭1名

安房中学校 生徒3名

## 【収益事業会計】

### 書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、屋久島環境文化財団オリジナルグッズ（マスキングテープ、キャラクターシール、里に特化したポストカード）、屋久島WAONカード、クオカード等や屋久島関連書籍等の販売を行った。

## 【法人会計】

### 管理費

本部管理費

#### ① 本部管理費

##### ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

##### イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、屋久島町内で企業訪問を行い、財団の業務概要の説明と賛助企業への加入依頼を行った。また、福岡市及び関東地方でも同様の企業訪問を行った。

#### ② 職員スキルアップ事業

研修課インストラクターのセミナーへの参加、研修教材の購入等を助成し、インストラクターのスキルアップを図った。



## 令和元年度事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。